

# COVID-19 流行下における「体育」授業の実践報告

～体育祭集中練習から体育祭当日まで～

鈴木淳也 武内麻美 三橋綾子 上田真穂  
国見保夫 高島二郎 川崎登志喜 山田信幸  
工藤 亘 南島永衣子

玉川学園・玉川大学

健康・スポーツ科学研究紀要

第21号

# COVID-19 流行下における「体育」授業の実践報告

## ～体育祭集中練習から体育祭当日まで～

鈴木淳也 武内麻美 三橋綾子 上田真穂 国見保夫 高島二郎\*  
川崎登志喜 山田信幸 工藤 亘 南島永衣子

### 要約

COVID-19 の影響により、2020 年 4 月、日本政府から緊急事態宣言が発令され、これまでの生活様式が大きく変化した。そのような中、大学は対面授業から遠隔授業中心の授業形態となり、学修環境が大きく変わることになる。玉川大学は、春学期オンライン中心の授業であったが、9 月から始まる「体育」授業は、対面授業と Web 実技のハイブリッド型授業を実施した。最終的には、体育祭集中練習から体育祭当日まで、感染症対策を十分に行うことで、感染者を出すことなく、授業を終えることができた。また、今回の「体育」授業を通して、あらためて対面授業の大切さを再認識した。

### 1. はじめに

玉川学園は、1929 年の創設より体育祭を実施しており、今年で第 92 回の大会であった。創設者の小原國芳は、全人教育を教育理念に掲げ、人格形成には「真・善・美・聖・健・富」の 6 つの価値を調和的に教育することが必要だと考えた<sup>1)</sup>。「健康な精神は、健康な肉体に宿る」という言葉を残したように、心身の両面から体育教育を考え、その手段としてデンマーク体操や体育祭を学園創設時から伝統的な行事としている<sup>2)</sup>。

今年は、COVID-19 の影響により、学校教育も大きな変革を余儀なくされた。2020 年 4 月に、日本政府より緊急事態宣言が発令され、大学の授業は、オンライン授業やオンデマンド授業といった遠隔授業となり、学生と対面で行う授業が全く出来ない状況となった。例年、9 月から行う「体育」は、体育祭集中練習と体育祭に参加する授業である。春学期は、実技科目もすべてオンデマンド授業であったが、6 月頃から体育教員中心に議論を重ねた結果、感染症対策を十分にとることで対面授業が大学より許可された。体育祭当日は、競技種目は中止となり、各ディビジョンごと集団体操の発表のみで、例年とは異なる体育祭となった。また、台風の影響で、2 日間の順延となったが、無

事に終えることができた。

本研究では、COVID-19 流行下において、実技科目である「体育」を、体育祭集中練習から体育祭当日まで振り返り、今後の「体育」の在り方について再考するための一資料とすることを目的とした。

### 2. 今年度の「体育」について

#### (1) 授業参加者について

授業参加者は、教育学部 1 年生ならびに他学部で教育職員免許状を取得する学生であった。各学部の参加者数は、表 1 に示した通りである。

表1. 令和2年度「体育」参加者数

学部学科	男	女	総計
文学部 国語教育学科	33	20	53
文学部 英語教育学科	40	23	63
農学部 生産農学科	29	9	38
工学部 ソフトウェア工学学科	3	0	3
工学部 マネジメント工学学科	26	12	38
教育学部 教育学科	112	136	248
教育学部 乳幼児発達学科	2	79	81
芸術学部 芸術教育学科	7	18	25
総計	252	297	549

単位 (人)

\*玉川大学

## 令和2年度 体育(体育祭)予定表

- ・体育では「体育祭」における体験授業のため、また、より健康的な生活習慣を身につけることを目的として体験を行う。
  - ・玉川学園においては、体育祭は幼稚園をはじめ幼児・小学生・中学生・高校生・大学生(教職専攻)が参加する唯一の全学的な行事である。したがって下級生の義務となる行動を取ることが期待される。
  - ・多人数の学生による集団活動である。集合時間を守るなど自覚を持って効率よく行動することを求める。
- ・対象学生 : 教育学部1年全員、文学部英語教育学科、教育学部以外の教職免許希望者2年生及び、再履修者、科目専攻学生

以下の日程にて特別練習を行うので間違いないように参加すること

日	9:00~10:30	10:30~12:00	13:00~14:30	14:30~16:00	練習場所(雨天時)
9月15日(火)	男子A	男子B	男子C	男子D	大体育館
	女子A	女子B	女子C	女子D	記念体育館
9月16日(水)	9:00~10:30	10:30~12:00	13:00~14:30	14:30~16:00	練習場所(雨天時)
	男子A	男子B	男子C	男子D	大体育館
	女子A	女子B	女子C	女子D	記念体育館
	9:00~10:30	10:30~12:00	13:00~14:30	14:30~16:00	練習場所(雨天時)
9月19日(土)	男子A	男子B	男子C	男子D	大体育館
	女子A	女子B	女子C	女子D	記念体育館
9月26日(土)	9:00~12:00		13:00~16:00		練習場所(雨天時)
	男子A,B		男子C,D		記念グラウンド(大体育館)
	女子A,B		女子C,D		記念グラウンド(記念体育館)
10月3日(土)	9:00~12:00		13:00~16:00		練習場所(雨天時)
	男子A,B		男子C,D		記念グラウンド(大体育館)
	女子A,B		女子C,D		記念グラウンド(記念体育館)
10月8日(木)	9:00~12:00		13:00~17:00		練習場所(雨天時)
	男子A,B,C,D		男子A,B,C,D		記念グラウンド
	女子A,B,C,D		女子A,B,C,D		記念グラウンド
10月9日(金)	9:00~13:00				練習場所(雨天時)
	男子A,B,C,D				記念グラウンド
	女子A,B,C,D				記念グラウンド
10月10日(土)	体育祭(終日) ※雨天順延12日(月)まで				

### <グループ>

男子A	教育学部教育学部1年1組~7組
男子B	教育学部教育学部1年8組~12組、教育学部再履修者 教育学部乳幼児発達学科 教育学部英語教育学科
男子C	文学部英語教育学科、文学部再履修者 農学部生産農学科、農学部再履修者
男子D	文学部英語教育学科 工学部情報通信工学科 工学部ソフトウェア工学科 工学部ソフトウェア工学科、工学部再履修者
女子A	教育学部教育学部1組~7組10組、教育学部再履修者
女子B	教育学部教育学部7組11組~12組 工学部ソフトウェア工学科、工学部再履修者
女子C	教育学部乳幼児発達学科
女子D	文学部英語教育学科 農学部生産農学科 教育学部英語教育学科

※別資料の「体育(体育祭)」連絡事項をしっかりと読んで下さい。

図1. 令和2年度「体育」授業予定表

### (2) 体育祭集中練習

体育祭の集中練習は、「3密」を避けるために、対面授業とWeb実技のハイブリッド型授業で実施した。

#### ①対面授業について

対面授業は、COVID-19の影響により、様々な配慮が必要となった。授業当日は、図1の授業計画の通り、男子、女子ともに4グループごとに分け、体育館で練習する人数を70名程度に抑えた。例年は、大体育館を使用し、午前中に男子、午後に女子が練習していた。今年度は、グループを細分化したため、男子は大体育館、女子は記念体育館と、場所を2カ所に分けて練習を行った。また、教育学部の1年生は、4月から遠隔授業が中心であったため、初めて大学へ来る学生が多くおり、事前に玉川学園のマップを資料で添付し、学生へ周知した。

感染症対策として、大体育館、記念体育館へ入る前

に、手指消毒、健康チェック表と検温、タフパッドで出席を確認した。ここでも、「密」を避けるために、テーブルを4カ所に設置し、受講学生を分散させて、確認作業を行った(写真1)。各施設へ学生が入った後、荷物を指定した場所へ置かせ、その後、3m間隔に印をつけた場所へ整列させ、体操の練習を行った(写真2)。体操の練習中、マスクの着用は、学生へ任せ、外しても、着けていても、どちらでも良いこととした。体操の練習後、次のグループとの入れ替えが必要であった。大体育館では、両サイドの非常口から練習していたグループを退出させ、次のグループとの接触を避けた。記念体育館は、出入り口の扉を指定し、練習が終わった学生は、地下のピロティから退出させた。また、退出する際に、体育専攻の補助学生が、手指消毒するとともに、フロアの消毒作業を行った(写真3、4)。最初は、時間がかかる場面もあったが、





写真 1. 大体育館へ入る前の感染症対策



写真 3. 練習後に手指消毒している様子



写真 2. 学生が整列した風景



写真 4. フロアの消毒作業

回数を重ねるに従い、作業が効率的に進むようになった。

## ②Web 実技について

Web 実技は、BlackBoard を使用したオンデマンド授業であった。今年度の「体育」は、対面授業のグループを細分化したことで、練習時間数が足りなくなり、それを補うために、全 7 回の Web 実技を実施した。Web 実技の流れを図 2 に示した。まずは、予定表を示し、各グループ、どの時間帯で Web 実技を実施するか、学生へ周知した。実技の動画は、体育祭集中練習が開始する前に、男子体操と女子体操の動きを授業担当者が撮影して準備した。また、撮影した動画は、容量の問題や体操の動きを部分練習できることを考え、動画を 3 分割して配信した。学生は、

動画を視聴しながら体操を練習した後、「Web 実技の実践報告書」へ、その日に学習した体操の動きや主体的な感覚、体操した感想をまとめ、BlackBoard から提出した。

## (3) 体育祭当日

体育祭は、10 月 10 日（土）の予定であったが、台風の影響で順延となり、10 月 12 日（月）の開催となった。今年度は、競技種目はすべて無く、各ディビジョンの集団体操の発表となった。表 2 のように、各ディビジョンの男女をバランスよく午前と午後に分けて、演技を行った。大学生は、女子が午前、男子は午後に登校し、演技と他のディビジョンの体操演技を見学した。



### Web実技の予定表の見方

令和2年度 体育(体育祭) Web実技予定表

学年	性別	実技名	実技日	実技時間
1年	男子	剣道	9月15日(火)	AM
	女子	剣道	9月15日(火)	PM
2年	男子	剣道	9月26日(土)	AM
	女子	剣道	9月26日(土)	PM
3年	男子	剣道	10月3日(土)	AM
	女子	剣道	10月3日(土)	PM

自分のグループをまず確認して下さい。対面授業がある日の、空いている時間でWeb実技を行ってもらう予定です。

例) 男子Aグループ  
対面授業: 9月15日(火) AM  
Web実技: 9月15日(火) PM

また、9月26日(土)と10月3日(土)に関しては、60分×2回分、Web実技で練習してもらいます。

本来、対面授業の日にWeb実技を実施し、報告書を出してもらう予定でしたが、遠方から参加する学生もいるため、時間的な余裕や皆さんの負担を考慮、Web実技の報告書提出は2日後まで、期限を延ばしたいと思います。

※すべてのWeb実技例) 15日(火)は、17日(木) 17時までには報告書を出して下さい。詳細は、後日アナウンスします。

### Web実技の流れ①

◆まずは、Black Boardへログインしてください。

「アナウンス」に、その日に実施するポイントや動画のURLを貼り付けておきます。(このスクリーンショットは、動画のスクリーンショットです。)

「Web実技の報告書」をクリックして、報告書をダウンロードします。また、報告書の提出もこちらからになります。

「画像」をクリックすると、写真のアップロードができます。(この日は、選択できません。)

「Web実技の報告書」をクリックして、報告書をダウンロードします。また、報告書の提出もこちらからになります。

Web実技を実施した後、こちらから「Web実技の報告書」を提出して下さい。

★Web実技の報告書の提出をもって、Web実技の授業出席とします。

### Web実技の流れ②

Web実技は、全7回あります。Black Boardに動画のURLを貼り付けておきますので、そちらを視聴しながら、体操のポイントを確認し、反復練習して下さい。

(動画を視聴する際、Black BoardのIDとPWが必要になります。)

動画を視聴し、体操のポイントを確認しながら、練習しましょう!

アナウンスにあるURLをクリックすると右側の画面になります。こちらに、BBのIDとPWを入力して下さい。

### Web実技の流れ③

動画を視聴しながら、体操の練習した後、右記のような報告書(図は男子用)をまとめ、提出してもらいます。

※練習前は、対面授業と同様に必ず体調チェックと検温を行い、体調が悪いときは実施しないで行うこと。  
⇒担当教員へ相談  
※適量、休憩をとりながら、水分補給をしながら、体操練習を行うこと。

Web実技の報告書は、指定の日時までにBlack Boardから提出して、その日の出席とします。例えは、15日(火)のWeb実技は、17日(木)17時までには報告書を出して下さい。その期間の間、Web実技はいつ行っても構いません。

見本と同じ動きができるよう何回も練習して下さい!!

図 2. Web 実技の流れ

### 別資料：体育祭当日の登校ルート (写真)

①：玉川学園南口

②：右に曲がる場所。

③：左に曲がる場所

④：Future Sci Tech Lab横の坂

⑤：右がゴルフ練習場。赤い車がみえる坂道をおりる。

⑥

図 3. 体育祭当日の登校ルート

表2. 第92回体育祭プログラム

午前の部	午後の部
1. 大空の下で (幼・4～5年生) 9:40～	5. 体操部演技 (6～12年生・大学生) 13:00～
2. 棒体操 (9～12年生男子) 10:20～	6. 大空の下で (1～3年生) 13:30～
3. "基 (MOTOI) " (大学生女子) 11:00～	7. ボール・徒手体操 (9～12年生女子) 14:10～
4. Swing & Wave (6～8年生男子) 11:40～	8. "基 (MOTOI) " (大学生男子) 14:50～
	9. Swing & Wave (6～8年生女子) 15:30～



写真 5. 体育祭当日の様子



写真 6. 大学生が見学する場所

体育祭当日は、体育祭集中練習で4グループに分かれていた学生が、全員出校するというので、感染症対策も、細かく設定した。まず、学生の登校ルートは、児童、生徒と重ならないよう、事前に設定し学生へ周知した(図3)。登校時間は、グループごと分散登校させ、手指消毒、健康チェック、検温、タフパッドでの出席が密にならないよう工夫した(写真5)。また、見学する場所については、学生同士が集まらないよう、マーカー等、目印となる物を置いた(写真6)。午前、午後の部が終了後、再度、タフパッドで2回目の出席をとったが、こちらもグループごと時間差で行った。体育祭当日は、時間に余裕があり、感染症対策も余裕を持ちながら、対応できた。

### 3. 「体育」のハイブリッド型授業について

今回の「体育」は、COVID-19流行下において、初めて行う実技科目のため、事前の感染症対策には苦労があった。特に、約550名の学生に対して、体操指導の方法、感染症対策、練習環境、学生入れ替えの動線など、準備の段階で体育教員が知恵を出し合い、実践した。その結果、COVID-19の感染者を出すことなく、体育祭を終えることができた。体育祭終了後、参加学生に提出してもらった感想文から、「体育」の授業に学生がどのような気持ちで参加し



表3. 学生の感想文において多くみられた言葉

	男子学生		女子学生	
	全体	1年生	全体	1年生
体力向上・健康	96	56	56	40
達成感・一体感	59	36	53	40
不安	27	12	71	55
緊張	26	20	33	30
感謝	27	20	14	8
コミュニケーション	6	5	27	21
ストレス軽減	4	1	4	4
楽しかった・良い経験	64	43	135	114
継続・努力	30	14	24	15
コロナ	96	58	96	76
集団・仲間・協力	61	37	104	80
指導法	24	11	19	18
友達	46	40	61	58

単位 (人)

ていたか考察したい。

表3は、学生の感想文で、多くみられた言葉をまとめたものである。学生全体としては、「体育」の授業を通して、「達成感・一体感」、「コロナ」といった言葉が多くみられた。COVID-19が流行している中、参加した学生同士、体育祭へ向けて体操を一生懸命に練習し、本番で発表できたことは、皆で1つのことを成し遂げた達成感があったようである。男子学生は、「体力向上・健康」といった言葉が多くみられた。学生は、COVID-19の影響で、家で閉じこもることが多く、運動不足や生活習慣の乱れから体力低下を感じていた。しかし、「体育」の授業を通して、運動習慣ができ、あらためて運動や健康の大切さを認識していた。男子学生の体操は、強壯性を高める演目である。山田ら<sup>3) 4)</sup>の報告によると、男子学生を対象に「体育」授業前後で体力要素の変化を調べたところ、上体起こし、背筋力といった体幹部の筋力向上が示唆された。男子学生の感想文に、「腕立てや腹筋などが鍛えられてこの授業を行う前より体力も筋力もついたなど感じました。」といった記述が多くみられたことから、短期間の練習においても身体的な変化を感じられた男子学生が多くいた。一方、女子学生は、「不安」、「楽しかった・良い経験」といった言葉が多かった。「不安」の要素としては、「初めて大学へ行く」、「初めて友達に会う」といった環境的な面と、「体操が上手くできるか」といった体操の技術的

な面といった内容であった。最初は、慣れていない体操練習で緊張していたが、徐々に笑顔が増え、充実した時間を過ごせたようである。さらに、大学1年生は、「友達」といった言葉が、男子学生、女子学生ともに多くみられた。巻末に掲載した資料1と資料2は、大学1年生の感想文の一部を引用したものである。やはり、4月から遠隔授業が始まり、画面上でしか友達と話すことが出来ず、寂しさや孤独感を感じていた新生が多くいたようである。今回、「体育」の授業で友達に会うことができ、大学へ入学した実感や幸福感を感じている様子がみられた。僅かな期間であったが、新生にとって対面での実技授業は、大きな価値があったようである。

今回、体育祭集中練習から体育祭を運営する中で、あらためて対面授業の大切さを実感することができた。教師と学生が、同じ場所でお互いに体を動かしながら対話することは、体育教育においてなくてはならない要素である。学生が、1つの目標である体育祭へ向かい、集団で体操の動きを磨きながら、人間関係を築いていく。また、教職を目指す学生にとって、体育祭を実施する意味<sup>5)</sup>を感じられた行事であったのではないか。オレロップ創立100周年の年で記念行事は中止となる中、COVID-19流行下でも体育祭が開催できたことに大きな意義があろう。次年度も、今回実施したような授業形態や感染症対策を基本とし、「健」の教育的価値を忘れずに「体育」授業を実践していきたい。

## 謝辞

今年度の「体育」授業は、例年よりも練習回数が増えただけでなく、準備の段階から様々な面において苦労があった。そのよう環境下においても、お手伝いいただいた非常勤講師の三橋先生、上田先生、補助学生の体育専攻3年生、4年生、感染予防対策に奔走していただいた事務職員の方、さらには慣れない環境下で体操練習や感染症対策に協力してくれた参加学生など、体育祭に携わった多くの人のおかげで、COVID-19の感染者を1人も出すことなく、無事に終えることができた。皆さんにこの場を借りて深く感謝したい。

## 参考文献

- 1) 玉川大学・玉川学園 HP : 全人教育  
[https://www.tamagawa.jp/introduction/enkaku/history/detail\\_12629.html](https://www.tamagawa.jp/introduction/enkaku/history/detail_12629.html) (2021/2/11)
- 2) 小原國芳『全人教育論』、玉川大学出版部、1969年、pp77 - 97
- 3) 山田信幸、高島二郎、川崎登志喜、工藤 亘、國見保夫、山下 誠：男子大学生における体育実技（集中練習）の運動効果—本学体育祭練習が体力に及ぼす影響について—、玉川学園・玉川大学 体育・スポーツ科学研究紀要、8、2008、pp25—30
- 4) 山田信幸、高島二郎、川崎登志喜、工藤 亘、國見保夫、山下 誠：男子大学生における体育実技（集中授業）の運動効果（第2報）～本学体育祭練習が体力に及ぼす影響について～、玉川学園・玉川大学 体育・スポーツ科学研究紀要、9、2009、pp15—22
- 5) 健康とスポーツ：玉川大学出版部、2010、pp154—156



## 資料1 大学生の感想文①

・今回の体育祭への取り組みの中で、多くのことを学ぶことができました。まずは、玉川の地に入学後、初めて足を運ぶことができたことです。遠隔授業では感じることでできなかった玉川の大学生であるという自覚が芽生えたような気がしました。練習では周りの学生とも協力をして、数人と友達になることもできました。そして、5月からの授業では無かった、みんなで一つのことを成し遂げたという大きな達成感を得ることができました。全体的に難易度が高い体操ではありましたが、その分できた時の達成感はより大きいものであったように感じます。また、この練習を通して、なぜ玉川大学が教職課程受講にあたり、デンマーク体操を必修化しているかについて理解できたように感じます。始めて練習に参加した際には、なぜこんなにきつい体操を必修で取り組む必要があるのかと疑問に感じていましたが、練習後に全身に筋肉痛を感じる点や、自分の体の動きを隅々まで注意して動く点、体を動かすことによって感じた幸福感など、デンマーク体操に取り組む意味を学べたように感じました。ただ、最後の数日間は腰に激痛が走り、参加するかどうか迷う日々でした。しかし、せっかく最後まで練習を積んできたからと半ば意地張りでの参加でしたが、最後まで無事に完走することができました。

・コロナウイルスの流行により対面授業がなく、玉川大学のキャンパスには今年もう入ることは無いと思っていたので、体育祭を実施すると聞いた時は驚きました。最近ほとんど運動する機会もなく、最初の練習では運動不足を思い知らされました。しかし、練習を続けていく中で筋力が増強されていくのを実感することができました。また、動きを覚えるだけではなく細部にまで気を配り妥協せずによいものを作り上げようと努力することは良い経験になったと感じています。本番では観客がほとんどおらず残念でしたが、練習の成果を出し切ることができたと思います。今回の体操練習や体育祭で最も自分にとって大きかったことは、同級生に直接会うことができたことです。春学期の間は画面越しに顔を見ただけで同級生といわれてもあまり実感がわきませんでした。キャンパス内で顔を合わせたことでようやくほかにも生徒がいることを実感できました。また、何人か知り合いも増やすことができました。

・これまでの体操練習で、体を動かすことの楽しさや努力することの大切さを学んだり、協調性を養ったりすることができました。私は体操やエアロビ、踊りなどの運動が苦手で、動きを覚えられず、これまでもたくさん練習をしてきました。今年度はコロナの影響もあり、なかなか練習する時間をとることができず、不安に思うこともありました。周りの仲間が協力してくれたり、先生方の動画配信などの支援を受けたりして、楽しく練習することができました。そのおかげで、体育祭当日も自分の精一杯の演技をすることができたと思います。本番は、配信されていた映像を見て思うことは多々ありますが、みんなが一生懸命演技している姿を見て、共に演技することができて良かったと思いました。これを通して、リモート授業で会えなかった友達と会うことができ、同じ夢を目指す仲間として絆を深めることができました。また、将来子供たちと踊りなどを通して学ぶ上で、今回学んだ楽しさや努力、協調などを生かしていきたいと思いました。先生方の指導の仕方なども学ぶことができたと思います。

## 資料2 大学生の感想文②

・体操練習をする中で、クラスの子や他の子とも仲良くなれた。大学に入学してからオンラインで一人、大学生になったという実感もないまま生活してきたがみんなの授業に取り組む姿勢や行動の早さを見てやっと実感が湧いた。この授業を通して、体を動かすことの楽しさや一人ではなくみんなとなにか一つのものを作り上げていくことの楽しさを学んだ。また、集団演技をするためには、一人ひとりが自分のことだけでなく周りのことも考えて行動し、相手を思いやるのが大切だと学ぶことができた。本番始める前は、緊張していたが入場してからは楽しむことができた。たくさん練習してきたからこそ達成感があるのだと学んだ。本番をやり切ったことでみんなとも絆が生まれたと思う。コロナの影響で行事を行うことが難しい中で、体を動かし、みんなで一つのことを達成できたことが嬉しかった。体育祭を実施するために動いてくれていた先生方や先輩方に感謝しなければいけないと思った。

・今まで、ずっとオンライン授業でクラスの子や同じ学部学科の子と関わる機会はなかったのですが、近くの子とコミュニケーションをとったり、助けあったりする中で、「社会性」を学ぶことのできる大切な機会になりました。教員になった時に活かすことのできる経験ができました。ダンスをする機会や演技を披露する機会は今まであまり経験がなかったので、技術以外のこともたくさん学びました。大きく成長できたと感じています。時間差の動きは周りに気を使いながらより綺麗に見せられるように自分なりに工夫したこともありました。団体としての一員としての自覚を持ちながら、緊張感を持って演技したり、協調性の部分で、また一つ大きく成長することができたように感じます。コロナ渦の中で大変ではありましたが、今までオンラインで行っていたものが、対面で行うとこんなにも楽しいのだと改めて気づかされたことが自分自身の一番の学びになりました。ある意味でコロナウイルスがなければ経験できなかったことですから、前向きにこの経験を自分の糧にしてより良いものにするために、将来に繋げていきたいなと思っています。

・これまでの体育祭練習を通して学んだことは、今まで当たり前でできていたことは当たり前ではなく、幸せなことなのだという事です。今まで、体育で距離を取り、マスクをつけながら行うことなど一度もありませんでした。また、こんなにも友達と会って話したり、一緒に練習したりすることが楽しくて幸せなことだとは思いませんでした。世の中の大学生はキャンパスに通えずにオンライン授業をひたすら受けるだけの毎日で、本当ならこの体育祭において大学生のプログラムは中止になってもおかしくないところを、短時間の学校での練習とweb実技を通して教職課程の女子みんなのできた事、とても嬉しく思います。体操練習では先生方や先輩方が熱心に指導してくださって、将来自分が教員になれたときに、運動会の練習や体育の授業でどのように進めていったらよいのかを学ぶことができてとても身になる時間でした。もう体育の授業は終わってしまうけれどこの体育祭練習、本番を通して学んだことをしっかりと自分の中にとどめて、将来に生かせるようにしたいと思います。普段全く体を動かさない私ですが、体育祭の練習を通して体を動かすことの楽しさも実感したので、オンライン授業の合間に積極的に体を動かすようにしたいです。